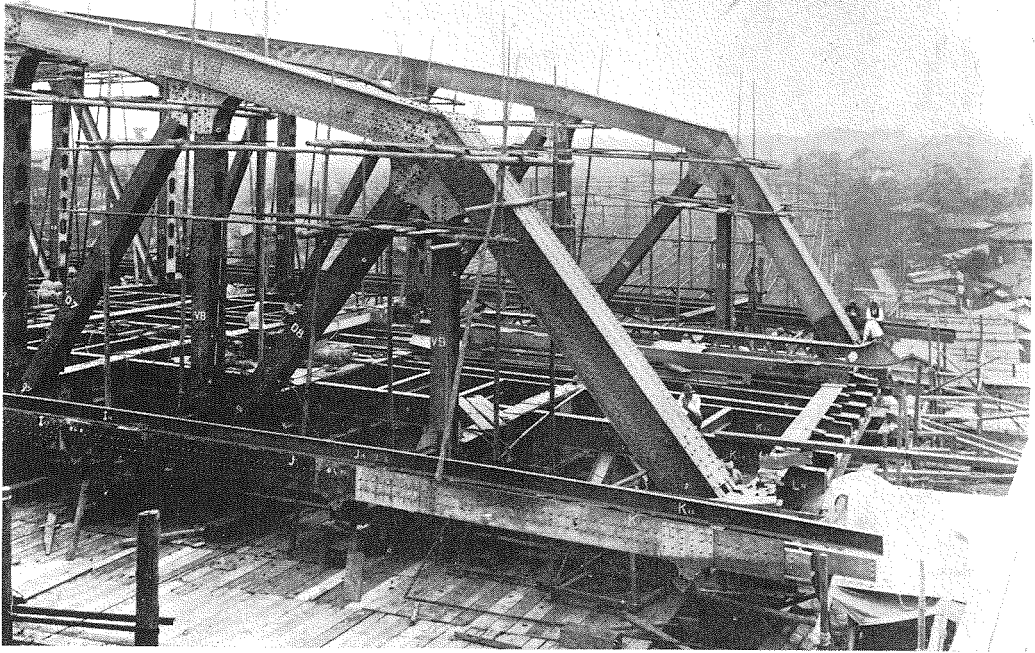


## 札の辻跨線橋

設 計	内務技師	大野博氏
工事主任	東京市技手	脇澤武氏
請 負	合資會社	清水組
製 作	合資會社	宮地鐵工所



## 工 事 概 要

東京市芝區札の辻側から、同區芝浦側に至る、都市計畫一等大路三類二號線中に架せられる跨線(鐵道省線)橋である。兩岸の取付道路や橋臺は既に道路課の手で略々完成してゐたが、目下橋梁課で上部新設工事を進めてゐる。橋梁の下の省線をカバーする防護工事は東京市から鐵道省に委託して、今年の七月に着手、九月一日から橋梁の組立を開始した。全部完工して開通するのは明年二月末と見られてゐる。總工費は20萬圓である。

型式 一徑間曲弦鋼構橋。

橋長 55.091 米 (181.8 尺)

幅員 全幅員 24.697 米 (81.5 尺)、有効幅員 21.818 米 (72.0 尺)、内車道が 16.364 米 (54.0 尺) で、兩側に各々 2.727 米 (9.0 尺) 宛の歩道がとつてある。

橋面 車道は木塊鋪裝、歩道は混凝土とする。

桁下端の標高 徑間中心に於て 34.247 米、即ち省線軌條上端から桁下端まで最少 17.85 尺以上である。

勾配 縦斷は60分の1の拋物線、横斷は車道の中央 (18.5 尺) 水平面側 (17.75 尺) が60分の1の拋物線、歩道は約 200 分の1の直線である。